

新学長に寺本千名夫教授

北海道短期大学

専修大学北海道短期大学ホームページ <http://www.senshu-hc.ac.jp>



副学長には山梨光訓みどりの総合科学科長

12月16日に開催された学校法人専修大学の理事会で、新家憲学長の任期満了に伴う改選が行われ、専修大学北海道短期大学の学長に寺本千名夫、副学長に山梨光訓が、同副学長には山梨光訓みどりの総合科学科教授が選任された。ともに任期は2010年1月1日から2012年12月31日までの3年間。

寺本学長は1981年専修大学大学院経済学研究所博士課程単位取得退学。93年本学助教を経て、98年教授に就任。企画広報室長、経済科長、商経社会総合科学科長を歴任し、2007年から副学長を務めていた。

専門は理論経済学、農業経済学。講義科目は日本経済論Ⅰ・Ⅱ、農業経済、農業経営、経済統計学Ⅰ・Ⅱなど。



学長就任にあたり

新学長の就任にあたり、年頭のあいさつを兼ねて抱負を述べていただいた。

謹んで新春のお慶びを申し上げますとともに、日ごろより校友の方々をはじめ、美幌市、市民の皆様からいただいております多大なご支援、ご協力を心より感謝申し上げます。

さて、本学は、今年度開学42年目を迎えます。この間、1万1000人を超える卒業生の皆さんを農業、農協、建設、造園、公務員などのさまざまな分野へ、また、専修大学を始めとする国公立の4年制大学へ送り出すことができました。これからも、即戦力となる職業人の養成と編入学教育に全力をあげて取り組んでいきたいと思っております。

職業人の養成、編入学教育に全力

第1は、学生の多様なニーズに応えるカリキュラムの編成で、学生の皆さんが、自分の希望や目的に合わせて、自由に科目を選択し、自分だけの時間割を作成することができます。みどりの総合科学科の学生は商経社会総合科学科の科目を受講

本学の概要

本学は、農・工学系の学科である「みどりの総合科学科」と社会・経済系学科である「商経社会総合科学科」の2つの学科から構成されています。

山梨副学長略歴

1975年北海道大学大学院農学研究所修士課程修了。同年、講師として任。2009年度中はみ

開かれた市民大学の役割を果たす

て本学に入職し、81年助教を経て、93年教授に就任。情報処理委員長、ホームページ委員長を歴任。専門は応用水文学、河川工

することも可能です(逆も可)文理融合。

第2は、社会生活に役立つ教養・実学的授業展開で、即戦力として社会で活躍できるように、職業に関する具体的な知識・技術を実験・実習等によって体得してもらえよう工夫しています。そのことが、同時に、「測量士補」「農業機械士」「2級造園施工管理技士」など、多くの資格取得につながっていきます。

第3は、4年制大学への編入学教育で、40年以上の伝統を持つ「情報系」の5つの系から構成されています。両学科とも地域総合科学科の適格認定を受けており、今年度の合格率は90%を超えています。近年は、専修大学、石巻専修大学以外の道内、東北、関東の国立大学への編入生も増加してきました。

教育、地域貢献のための取り組み

1. 昨年「有機農産物生産行程管理士」成田保三郎教授に認定された「専大ファーム」をさらに発展充実させ、新たな商品開発に取り組み、農業教育をより実践的なものにしていきます。

2. 昨年刷新された教育用コンピュータシステムの活用によって、情報教育の効果を向上させるとともにCADや情報処理関連の資格取得の支援強化を図りました。

3. 専修大学ハスカッププロジェクトの充実。昨年定植した苗木の栽培、収穫機の研究開発を進め、生産農家、関連商品の調査、ハンドブックの作成に携わる。

4. 地域住民の学習ニーズを十分精査し、特色ある市民公開講座を開講する。

5. 高大連携の強化。協定を締結している高校との交流を積極的に推進するとともに、新たな協定締結を目指す。

出前授業、実験・実習の受け入れ、課外活動の更なる交流などに取り組み。

皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

スキ！、スノーボード満喫

・学生部主催ツアー・夕張マウントレースイ・スキー場へ



▲ 思い思いに滑りを楽しんだ

四季折々の北海道を満喫する学生部主催ツアー。12月17日に学生、教職員27人が参加して「スキー・スノーボードを楽しむツアー」が開催された。

今年度は初級者向けのロングコース、最大斜度53度の上級者限定コースなどの多彩なコースが設置されている夕張市の「夕張マウントレースイ・スキー場」へ。絶好のスキー、スノーボード日和のなか、思い思いに滑りを楽しんだ。

みどりの総合科学科演習 28人が「そば打ち」 農産品加工の意義学ぶ



▲ 3種類のそば打ちに挑戦した

「将来、農業を営む学生に、農業は生産だけでなく、加工や販売など、大きな可能性を感じてほしい」と、この実習の意義を話した。

は打ち実習」が行われ、10割、8割、6割とそば粉の分量を変えた3種類のそば打ちに挑戦した。

学生たちは美幌市の貞広ファームにある「体験工房よしいDON」指導にあたった同ファーム主宰者の貞広樹良さんは「将来、農業を営む学生に、農業は生産だけでなく、加工や販売など、大きな可能性を感じてほしい」と、この実習の意義を話した。



★1月30日(土) 9時スタート

雪合戦/雪上ソフトバレー/スノーフラッグなどを予定。

参加者にはカレライスを振る舞います。

2010年度 専修大学北海道短期大学入学試験日程

試験区分	出願期間	試験日	合格発表日	選考方法
一般入学試験	A日程	1/12(火)~1/25(月)	1/29(金)	2/5(金)
	B日程	2/8(月)~2/22(月)	2/26(金)	3/3(水)
	C日程	3/1(月)~3/8(月)	3/12(金)	3/15(月)
S方式入学試験	I期	2/8(月)~1/24(水)	-	3/3(水)
	II期	3/1(月)~3/10(水)	-	3/15(月)
	III期	3/15(月)~3/19(金)	-	3/24(水)

※一般入学試験の試験地 全日程ともに【美幌・札幌・東京】の3会場。
●各試験の詳細、他の入学試験については大学案内、またはホームページでご確認ください。
■問い合わせ先 〒079-0197 北海道美幌市字美幌1610-1
専修大学北海道短期大学 入試係 ☎0126-63-0123(直通) FAX0126-63-3097



▲ 全校規模では初となる避難訓練の様子

生じた想定で行われ、誘導の放送に従い、学生・教職員が学内全域から1号館前ロビーに避難。非常ベルが鳴ってから避難完了までの時間は12分30秒で、美幌消

初の「全校避難訓練」

12月10日、全校規模としては初めてとなる「避難訓練」が実施された。訓練は1号館134教室の暗幕付近で火災が発

最後に消防署職員による講評が行われ、参加者たちは非常時の冷静な行動や対応の仕方などを学び、災害に対する心構えを新たにしました。